

NO.203

令和3年12月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

G I K A I T I M E S

特集

市議会のお仕事FILE

市議会が決算をチェック!!



9月定例会で 市議会が決算をチェック!!

9月定例会では、令和2年度の決算審査を行いました。会期中に設置した「決算審査特別委員会」において、予算の使い方が適正であったか、効果や効率性はどうだったか、などを確認しました。

決算審査特別委員会とは

一般会計及び特別会計、企業会計の歳入・歳出の決算を審査することを目的に設置されます。委員会は、11人の委員（3人以上の会派から3人に1人の割合で選出）で構成。令和3年度は、9月28日から10月6日まで審査を行いました。



本会議場での決算審査特別委員会の様子

※市には、一般会計の他に、特定の事業について個別に収支を管理することで事業の状況を明確化するための特別会計（国民健康保険事業や介護保険事業など10事業）と、独立採算を原則として市が直接経営を行う公営企業会計（上水道・下水道事業）があります。

＼ 令和2年度決算をみてみよう ／

令和2年度久留米市一般会計の決算総額

歳入総額(A)	歳出総額(B)	収支(A-B)
1,703億9,047万円	1,690億821万円	13億8,226万円



令和2年度決算

総括

令和2年度一般会計は、新型コロナウイルスの感染拡大や3年連続の豪雨災害に対応するため、11回の補正予算を編成しました。

歳入・歳出決算額は、共に前年度と比較して約400億円規模の増加。これは、国からの補助金などが大幅に増加したことによるものです。その結果、歳入総額から歳出総額を差し引くと13億8,226万円で、令和3年度への繰り越しを除く実質収支は、7億9,107万円の黒字決算となりました。



サル岡議員

✓ 歳入のポイント

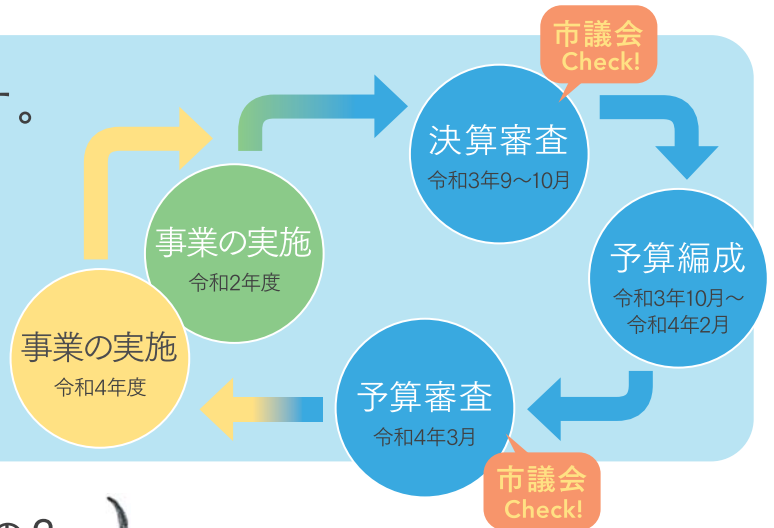
- 令和2年度の歳入総額は、約1,704億円。前年度比で約406億円、31.2%増
- 市税のうち法人市民税が、コロナ禍や税率変更の影響で大幅に減少
- コロナ対策事業のための国からの補助金やふるさと納税が大幅に増加

✓ 歳出のポイント

- 令和2年度の歳出総額は、約1,690億円。前年度比で約403億円、31.3%増
- 歳出増の主な要因は、コロナ対策関連の112事業、約370億円
- 3年連続の豪雨災害を受けて、浸水・防災対策や農業被害支援などの災害対応関連費用も増加

次年度予算編成につなげます。

決算審査では、前年度の事業が適正だったのかを審査し、改善すべき点などの意見を出します。この意見を次年度予算編成に反映させ、その予算案を3月の予算委員会で審査します。そして、次年度は、この予算に基づき事業実施へ。決算・予算は、このようなサイクルを繰り返しています。



(なぜ、議員が決算を審査するの?)

ラビ子

9月の定例会で決算の審査をしたと聞いたよ。なぜ、終わったものを審査するの?

なるほど! 決算のチェックは大事なステップなんだね。今回の決算委員会は、「新型コロナ」、「豪雨災害」、「牛乳パック」に関する質問が多く出たと聞いたよ。

環境問題かな。この間もリサイクルやリユースの話をテレビでやってた。

なるほど! 議員さんは、一つの問題をさまざまな角度から考えていることがよくわかったよ。

トリ田議員

次年度の予算をより良くするために、決算を振り返るんだ。だから、令和4年度の予算づくり前の9月にやるんだよ。

そう。学校給食の牛乳が瓶から紙パックに変わったことに関する質問も多かったね。ラビ子さんは、牛乳パックに関する質問と聞いたら、どんなことをイメージするかな?

そうだね。給食用牛乳パックのリサイクルには手間や費用がかかったりするんだ。それでも、久留米市はゴミの処分に困った時期があったし、環境問題は身近な問題として取り組む必要があるのではないかとこの視点で質問したんだよ。「子どもたちに手間を経験させることも教育として大切じゃないか?」っていう意見もあったね。

議会が特にチェックした事業をピックアップ!!

ここでは、本市が、令和2年度に、市民の生命と健康を守ることを最優先に取り組んできた「新型コロナウイルス感染症対策」と「豪雨災害への対応」について事業の概要と質疑を取り上げます。

✓ 決算審査 Pick Up 1

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として実施してきた112事業は、次の6つに分類できます。市では、各事業に多くの時間と費用を費やして、感染症対策に取り組んできました。

分類	決算額	主な事業内容
市民生活支援	318億 5,195万円	特別定額給付金など各種給付金
事業者支援	29億 9,379万円	中小企業や農業分野への支援
感染予防・新生活様式	5億 9,295万円	避難所・保育施設など感染症対策
医療体制強化	5億5,638万円	PCR検査の公費負担、医療機関への支援
ICT整備・DX ^{*1} 促進	5億 960万円	教育ICT、テレワーク導入支援
学校教育・子ども支援	3億7,600万円	学校における感染症対策

こんな質疑がありました

Q 令和2年度は、緊急事態宣言の発令などを受け、手探りの中で、コロナ対策を行ってきた。今回のコロナ禍での危機管理について、きちんと整理しておくことは、今後に備えるという意味でも必要と考える。市としての見解は。

A 令和2年度は、約600人の感染者が発生した。市では、庁内全体が柔軟かつ緊密に連携して保健所の人員体制を強化し、組織横断的に対応してきた。今回のコロナ対策を通して、業務の見直しや効率化、情報共有、日々変化する状況への柔軟な対応の重要性を、多くの職員が認識する経験を持つことができた。改めてこれらの検証を行い、これを市行政のDNAとして引き継ぎつつ、次の危機に備える必要があると考える。

※1 DX・・・デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)のこと。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

✓ 決算審査 Pick Up 2

豪雨災害への対応

市では、3年連続の豪雨災害に対しても、国・県と連携し、さまざまな対策に取り組んできました。市が実施した令和2年度の本事業は、次のとおりです。

事業	決算額	主な事業内容
園芸農業等総合対策事業 ・畜産振興総合対策事業 (災害対応分のみ)	5億4,512万円	被害を受けた農業者に、農畜産業施設や機械の復旧、再生産に必要な種苗代等を助成
市街地浸水対策事業	7,487万円	フラップゲート設置工事、護岸かさ上げ工事等
防災重点ため池対策事業	6,651万円	ハザードマップ作成、ため池機能の維持・補強への対策等
防災対策強化事業	6,003万円	避難所の備蓄品や防災資機材の整備等

こんな質疑がありました

Q 令和2年3月に策定した、金丸川・池町川と下弓削川・江川の2つの流域の総合内水対策計画による取り組みは、順調に進んでいるのか。

A 国・県・市が連携し策定した2つの総合内水対策計画は、概ね5カ年の計画で、国・県・市が役割分担して計画を進めている。整備する施設規模が大きく、設計から施工までの期間に時間を要するが、概ね計画どおりに進んでいる。近年は連続して浸水被害が発生しているため、できるだけ速やかに進めていきたい。

これら以外にも、行財政改革の取組実績、DV・児童虐待対策、脱プラスチックの取り組み、有害鳥獣対策、地域商店街への支援、老朽危険家屋への対策など、多くの事業について質疑がありました。

令和3年8月の大雨による災害対応や コロナ対策を含む補正予算などを可決

令和3年9月定例会を9月2日から10月13日まで開催。災害対応やコロナ対策、令和2年度決算などについて審議しました。

主な審議事項

- 一般会計補正予算
 - ・緊急事態措置等の発出に伴い、売上げが減少した中小事業者への支援や感染症拡大防止対策強化のための工事や物品購入に係る経費への支援等(第5号)
 - ・令和3年8月の大雨の災害対応復旧費用等(第6号)
 - ・令和3年8月の大雨で被害を受けた農業者への支援等(第7号)
- 令和2年度決算
- コロナ禍での地方税財源の充実についての意見書



議案の議決結果はP7へ →

9月定例会の経過 会期 9月2日～10月13日の42日間

第1日

▼ 9月2日

- 会期の決定
- 市長から一般会計補正予算など10議案の提案説明
- 10議案のうち、急を要する案件として一般会計補正予算(第5号)を総務・経済の2常任委員会で審査
- 両常任委員会の議案審査結果報告の後、議案を可決

第2日～第5日

▼ 9月10日～15日

- 一般質問(P8,9へ) (9月10日～15日)
- 議案の質疑、各常任委員会へ議案の付託(9月15日)

常任委員会

▼ 9月16日・17日

- 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P6へ)

第6日

▼ 9月24日

- 議案1件が追加提出され、市長から提案説明
- 追加議案を教育民生常任委員会で審査
- 追加議案を含む各常任委員会の議案審査結果報告の後、初日に議決した議案を除く、全ての議案を可決・承認
- 人事議案2件が追加提出され、市長から提案説明の後、両議案に同意
- 令和2年度決算等の議案15件が提出され、市長から提案説明、議案質疑の後、決算審査特別委員会に付託
- 行財政改革調査特別委員会の設置

決算審査特別委員会

▼ 9月28日～10月6日

- 決算審査特別委員会で議案を審査(P2～4へ)

第7日

▼ 10月13日

- 令和2年度決算等の議案について、決算審査特別委員長から審査結果の報告の後、全ての議案を認定・可決
- 一般会計補正予算(第7号)が追加提出され、市長から提案説明
- 追加議案を総務・経済の2常任委員会で審査
- 両常任委員会の議案審査結果報告の後、議案を可決
- 議員による意見書の提案説明の後、可決
- 9月定例会を閉会

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。

● 人権擁護委員

北野町 坂本 光夫 城島町 高口 久
城島町 稲益 都美子 三瀨町 北村 嘉伸



議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案の内容をお知らせします。

総務常任委員会

可決

コロナ対策や災害対応・減災対策などに伴う予算を補正（第70号議案）

新型コロナウイルス感染症予防対策や災害対応・減災対策などに必要な経費の増額、事業の中止で不用となった予算の減額など、令和3年度一般会計予算を総額15億8,835万円増額補正するものです。

経済常任委員会

可決

大雨による被害を防ぐためにクリークのしゅんせつを実施（第70号議案）

筑後川下流域の農地の防災・減災対策として、広域的な先行排水を推進するために、クリークのしゅんせつ費用として1億9,791万円を増額補正するものです。



土砂が堆積しているクリーク

こんな質問が出ました

- Q クリークのしゅんせつは継続して行うことが重要だと考えるが、今後の取り組みをどう考えているか。
- A 今回、流域治水の取り組みの中で、県の事業化により補助金の活用ができるようになった。補助対象となるのは、国営事業または県営事業で整備されたクリークとそこに接続するクリークであり、期間も令和6年度までと限定されている。今後も継続してしゅんせつを行うことが必要だと考えるので、計画的な取り組みとなるよう国・県へ要望をしていきたい。

教育民生常任委員会

可決

長期化するコロナ禍での浸水被害に対する災害見舞金^{※1}を増額（第70号議案）

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、今年8月の大雨により床上浸水等の被害を受けた方への災害見舞金を支給するため、2,700万円を増額補正するものです。

こんな質問が出ました

- Q 大雨による浸水被害は毎年起こっているが、今後、再び同じような災害が起こった場合にも、災害見舞金を増額して支給するのか。
- A 今回は、コロナの影響が続いている状況で、8月の大雨による家屋の浸水被害を受けた方に対し、災害見舞金を増額して支給するものである。今後の災害に対する災害見舞金の増額支給については、引き続き検討したい。

建設常任委員会

承認

公園にある側溝の管理瑕疵のため発生した負傷事故への損害賠償（第67号議案）

公園内の側溝蓋に乗ったときに、蓋が割れて落ち込み負傷した事故について、被害者の受けた損害を賠償するために専決処分^{※2}をしたので、議会に報告し、承認を求めるものです。

こんな質問が出ました

- Q 側溝蓋の劣化が原因で事故が起きたということだが、公園の安全点検はどうしているのか。
- A 側溝蓋は、目視による安全点検を月に1回以上は行っているが、今回事故となった蓋は設置後30年以上経過しており目視では発見が難しい小さなひびが入っていた。今回の事故後、叩いたり・踏んだりするなどの緊急点検を行った。今後は、公園等を管理する指定管理者と協議し、点検手法などを検討していく。

※1 災害見舞金・・・久留米市が定める規程により、火災や自然災害が発生したとき、家屋や被災者の被害状況に応じて支給するお金。

※2 専決処分・・・議会が議決すべき事柄について、緊急を要するため議会を招集する時間的な余裕がないなどの場合に、市長が議会に代わって決定すること。専決処分した事柄は、次の議会で報告し、承認を求めることになっている。

議案の議決結果

✓ 全員賛成で可決・承認・同意・認定した議案

令和3年9月2日議決分

第69号 令和3年度久留米市一般会計補正予算(第5号)

令和3年9月24日議決分

- 第65号 訴訟上の和解の専決処分について
- 第66号 自動車破損事故による損害賠償の専決処分について
- 第67号 公の営造物の管理瑕疵に起因する負傷事故による損害賠償の専決処分について
- 第68号 交通事故による損害賠償の専決処分について
- 第70号 令和3年度久留米市一般会計補正予算(第6号)
- 第71号 令和3年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 第72号 令和3年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 第73号 財産(学習者及び指導者用コンピュータ端末)の取得について
- 第77号 財産(端末充電保管庫)の取得について
- 第78号 久留米市表彰条例に基づく表彰について
- 第79号 人権擁護委員候補者の推薦について



9月定例会での採決

令和3年10月13日議決分

- 認定第3号 令和2年度久留米市競輪事業特別会計決算の認定について
- 認定第4号 令和2年度久留米市卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 認定第6号 令和2年度久留米市市営駐車場事業特別会計決算の認定について
- 認定第8号 令和2年度久留米市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 認定第9号 令和2年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計決算の認定について
- 認定第11号 令和2年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について
- 認定第12号 令和2年度久留米市水道事業会計決算の認定について
- 認定第13号 令和2年度久留米市下水道事業会計決算の認定について
- 第75号 令和2年度久留米市水道事業剰余金の処分について
- 第76号 令和2年度久留米市下水道事業剰余金の処分について
- 第80号 令和3年度久留米市一般会計補正予算(第7号)
- 発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

✓ 賛否が分かれた議案

議案名	会派名	明政会 (13)	久留米 たすき (7)	公明党 (6)	緑水会 (5)	みらい 久留米 (2)	日本 共産党 (2)	議決 結果
令和3年9月24日議決分								
第74号 久留米市手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	×	可決
令和3年10月13日議決分								
認定第1号 令和2年度久留米市一般会計決算の認定について		○	○	○	○	○	×	認定
認定第2号 令和2年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	×	認定
認定第5号 令和2年度久留米市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	×	認定
認定第7号 令和2年度久留米市介護保険事業特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	×	認定
認定第10号 令和2年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	×	認定

会派名の()内の数字は所属議員数。ただし、久留米たすきは議長を除く。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

※緑水会は9月24日と10月13日は、1人欠席のため、表決に参加したのは4人。

会派名: 明政会(明政会議員団)、久留米たすき(久留米たすき議員団)、公明党(公明党議員団)、緑水会(緑水会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

久留米市議会 議案と結果

検索

明政会

行財政



石井 秀夫

Q 持続的に発展できる都市に向けて、重要な取り組みは

A 中心市街地の再整備やネットワーク型のコンパクトな都市の形成が必要不可欠である。あわせて、行財政改革を進め、持続可能な財政運営と健全な財政基盤の確立が重要であると考えている。

久留米たすき

行財政



大熊 博文

Q 前市長の政策を継承しなかったものがあると思うが、その理由は何か

A 本市の持続的な発展に向けて、より一層のコスト意識を持ちながら、社会情勢に応じた事業の見直しと行財政改革を進め、市民サービスの向上と健全な財政基盤の確立が重要であると考えている。

その他の質問…田んぼダムの推進など

公明党

まちづくり・くらし



田中 貴子

Q 奨学金の代理返還制度を市内企業に周知し、若者の定住促進に活用を

A 企業側の人材確保と従業員のニーズが合えば定住促進策として有効と考える。ホームページや商工労働ニュースなどで周知を図りたい。また、関係機関とも利活用の意見交換を行いたい。

その他の質問…金丸川・池町川流域における豪雨対策など

日本共産党

まちづくり・くらし



金子 むつみ

Q 生理用品は、無償配布だけでなく、公共施設や学校のトイレへの常備を

A 今回の配布は、女性が困難な状態に陥る前に、必要な支援につなぐためのきっかけづくりである。公共施設などへの生理用品の常備は、効果の検証も必要であり、関係機関等と検討していきたい。

その他の質問…8月の大雨被害による住宅改修の補助金の措置など

久留米たすき

まちづくり・くらし



早田 耕一郎

Q 市中心部の市街化調整区域を市街化区域にできないか

A 市街化区域にするには、法令などの要件を満たす必要があり、現状では難しい。土地利用は、市全域のまちづくりに関わるため、市街化区域の在り方も含め、有効な土地利用の検討を進めていく。

その他の質問…コンパクトな拠点形成と拠点をネットワーク化するまちづくりの課題

緑水会

教育・子ども



吉武 憲治

Q 新型コロナに感染した児童生徒のフォロー体制や感染者等への差別防止の取り組みは

A 感染した児童生徒には、電話での健康状態の把握や学習課題等による学びの保障に努め、また、感染者等への差別防止の授業や保護者への啓発など学校・家庭での差別防止を実施している。

その他の質問…学校事務補助職員の体制強化など

公明党

教育・子ども



塚本 弘道

Q 児童生徒の通学路の安全を確保するための取り組みは

A 通学路交通安全プログラムに基づき、国・県・市の道路管理者や警察等と連携して安全確保に取り組んでいる。今後も関係機関と連携しながら児童生徒の登下校の安全確保を進めていく。

その他の質問…新型コロナウイルスワクチン接種など

明政会

商工業・農業



松延 洋一

Q 地下駐車場売却を周辺の活性化につなげることが重要だと考えるが

A 売却先は、価格だけでなく、事業提案の内容も重視した審査を行う。売却により、西鉄久留米駅東口周辺の民間投資をさらに進めながら、活性化やにぎわいづくりにつながるよう取り組みたい。

その他の質問…改正ビルメンテナンス業務に係る発注事務の運用など



路側帯をカラー舗装した通学路

緑水会

商工業・農業



佐藤 晶二

Q 耳納北麓の山間地域でイノシシ等のすみかとなっている耕作放棄地対策は

A 耕作放棄地対策は、指針^{※4}に基づいて進めており、市や農業委員会、県、JA等で構成する協議会で効果的な方策を検討していく。今後も農業委員会との連携を強化し、耕作放棄地の解消に努めたい。

その他の質問…牛乳給食の紙パック使用と「脱炭素社会」との整合性など



南島 成司

Q コロナ禍で出入国制限を受ける技能実習生等を雇用する農家への支援は

A 県の事業を活用し、在留資格の変更・更新にかかる事務手数料や賃金の増額分を補助している。また、入国が困難な実習生等に代わる労働力としての機械等の導入費用も補助している。

その他の質問…農業収入保険制度など



中村 博俊

Q 浸水被災者の住宅リフォームについて支援ができないか

A 現行の住宅リフォーム助成事業は、省エネとバリアフリーの改修を支援している。住宅への浸水対策は、喫緊の課題であり、今後、浸水被害の防止や軽減を図る支援策を検討していく。

その他の質問…金丸川・池町川の適切な維持管理など



藤林 詠子

Q 長門石地区の浸水対策を今後どのように進めていくのか

A 河川管理者の国と福岡・佐賀両県で浸水対応調整会議が設置され、原因を分析し、今後の対応が検討される予定である。市は、地元要望も踏まえ、有効な対策を検討するよう国県へ働きかけていく。

その他の質問…携帯電話基地局設置に関する市の関与など



田住 和也

Q 8月の大雨時に開設したペット同伴専用避難所の現状と課題は

A 8月の大雨では、市民と共に犬、猫、ウサギ合計18匹の避難があった。今後、ペットの種類の多様化や避難者数の増加も想定されるため、適切な避難所運営について検討を進めたい。

その他の質問…西鉄津福駅周辺のにぎわいづくりなど



「わんぱく童夢館」内に設置されたペット同伴専用避難所

／ ここが知りたい ／ 一般質問

一般質問とは？

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。9月定例会で行った質問の一部をご紹介します。

※1 代理返還制度

日本学生支援機構の奨学金を受けた従業員に対し、企業が返還額の一部又は全額を支援する際、企業から直接機構に返還することを可能にした制度のこと。

※2 市街化調整区域

都市計画法に基づき、市街化を抑制すべき区域のこと。建てることのできる建築物に制限がある。

※3 地下駐車場

西鉄久留米駅東口千歳プラザ地下駐車場のこと。売却対象物件は、千歳プラザビル東館・西館地下2階(一部地下1階部分含む)の土地・建物。令和3年度に、公募型プロポーザル方式により売却先を公募した。

※4 指針

農業委員会が策定した「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」のこと。耕作放棄地の解消に向けた目標や推進方法などを定めている。

※5 技能実習生

外国人技能実習生は、研修期間等が終了すると原則として帰国し、農家は新たな実習生を受け入れている。コロナ禍の出入国制限等で、研修期間等が終了しても帰国できない者は、在留資格の変更や更新をしながら、引き続き、農家で雇用されている。

※6 ペット同伴専用避難所

「ペットと一緒に避難できる避難所を開設してほしい」との市民の声をを受けて開設。令和3年度は、サイクルファミリーパーク内の「わんぱく童夢館」1カ所で運営している。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。



議会中継(録画)

常任委員会 活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行う所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。今回は、7月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

■ 総務常任委員会

ふるさと納税の取り組み

ふるさと納税の制度概要、本市への寄付の状況や活用方法、及び令和4年度からの包括業務委託^{※1}について、総務部総務課から説明を受けました。

Q 包括業務委託後、市はどのように関わっていく予定か。

A 市は、全体の統括や返礼品の選定などを行うこととしている。なお、選定にあたっては、市で、地場産品基準への該当など、審査の透明性を確保していきたい。また、新たな返礼品の開発についても、事業者の協力を得ながら市も携わっていきたい。

■ 経済常任委員会

久留米・うきは工業団地

久留米・うきは工業団地の概要や分譲の状況、これまでの企業誘致の実績と雇用や市税収入などの効果について、企業誘致推進課から説明を受けました。

Q 物流の拠点や人材の確保の点で、企業にとって久留米市に立地する利点がある。新たに工業団地をつくる土地が少ない中で、今後の企業誘致にどう取り組むのか。

A 企業誘致は引き続き行っていく予定である。現在も新たな産業団地の可能性について調査を行っている。また、オフィス系の企業も含めて積極的に誘致を行っていきたい。

■ 教育民生常任委員会

動物の愛護管理

動物を虐待することなく人間と動物が共生する社会を目指して、動物の愛護と適正な管理を推進する取り組みについて、保健所衛生対策課から説明を受けました。

Q 動物を世話できない人が飼わないと判断することも動物愛護の在り方だと考える。犬や猫の譲渡会では、どのような啓発をしているのか。

A 市が保護した犬や猫を個人の方に譲渡する際には、飼育できる環境にあるかを確認している。また、環境省が作成した飼育に関するパンフレットを渡したり、2週間程度お試して飼育する期間を設けたりしている。その結果、飼育困難だと判断して譲渡をやめる場合もある。

■ 建設常任委員会

久留米市域における国・県事業の推進

国や県が事業主体である道路事業や河川事業の推進による整備効果や、事業推進に向けた取り組みについて、広域事業調整課から説明を受けました。

Q 国・県事業が進む中で、地域にとってはプラスの効果だけではなく、住環境が変化するなどマイナスになる場合もある。地元との調整が重要だと考えるが、市の考えは。

A 円滑に事業を推進するには、行政主導ではなく、地元の理解が必要と考えている。今後も、国・県・市が地元と意見交換などを行い、しっかり連携を図りながら事業推進に取り組んでいく。

※1 包括業務委託・・・ふるさと納税に係る事務のうち、寄付受付・返礼品発送管理業務・広報PRなど、一連の業務のノウハウを持つ外部事業者へ包括的に委託すること。

令和3年8月の大雨による被災者への早急な対策を要望

8月23日に災害対応連絡会議を開催。市の災害対策本部から8月11日からの大雨による被害状況と災害対応に関する報告を受けました。その後、被災者の声や災害対応の課題について、委員間で活発な意見交換を行いました。この会議で出された意見は、今後の被災者支援や防災対策などに生かすため、災害対策本部に伝えました。

また、8月末から9月にかけて、武田総務大臣・赤羽国土交通大臣・野上農林水産大臣（いずれも当時）などが現地を視察されました。その際、市議会では、被災者の窮状や水害の状況を訴え、国県に対し、早急な対策・支援を強く要望しました。



災害対応連絡会議の様子



被災地を視察

行財政改革調査特別委員会を設置

行財政改革調査特別委員会が9月24日に設置されました。10月6日の委員会では、行財政改革推進課から公共施設管理の最適化の取り組みなどについて説明を受け、11月12日の委員会では、調査テーマを「市民会館跡地の活用」とすることに決定しました。今後、テーマに基づき具体的な調査を行います。

コロナ禍における地方税財源の充実を求める意見書を提出

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を10月13日の本会議において可決し、内閣総理大臣や衆参両院議長などへ送付しました。

長期化するコロナ感染症への対応はもとより、度重なる豪雨災害へ対応した地域の防災・減災、雇用の確保、公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源を確保するため、国に対し令和4年度地方税制改正について要望しています。



提案理由の説明



議場での一問一答方式のシミュレーション

一問一答方式での一般質問のシミュレーションを実施

議会制度調査特別委員会では、一問一答方式導入に向けた具体的なルールづくりについて、協議を重ねてきました。

10月28日には、議場で、委員が一問一答方式による一般質問のシミュレーションを実施。定例会での試行に向けて、今後さらに詳細を検討していきます。

議会を知りたい

学生質問帖



三井中央高等学校
総合学科2年(右から)

田島 愛梨 さん
(生徒会副会長)

藤岡 舞有 さん
(生徒会副会長)

熊手 美実 さん
(生徒会会長)

議会広報委員
井上 寛 議員

今回は、女性の視点で、踏み込んだ質問が出され、議員は、市議会の役割を含めて回答しました。

市議会に女性議員が増えると、何が期待できますか？

Answer 市議会には、定数36人のうち6人の女性議員がいます。女性議員に尋ねたところ、「女性ならではの視点や声を行政に届けられるし、女性が相談しやすい」と言っていました。政策提案のためには多種多様な意見が必要であり、その点から女性議員が増えた方がよいと思います。

久留米市の男女賃金格差の解消の取り組みを教えてください。

Answer これまで、出産や育児等による女性の就業期間が短いことなどが、男女の賃金格差を生む一因となっていました。市では、男女が対等に、社会のあらゆる分野に参画し、責任を担う社会の実現に取り組んでいます。市民から男女平等を含むさまざまな相談を受けた際には、我々議員も関係部署とともに協議し、解決に向けた支援を行っています。

久留米市の教育ビジョンを教えてください。

Answer 教育に関する方針を示す「久留米市教育に関する大綱」と実施計画としての「久留米市教育振興プラン」があります。「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」という基本理念の下に、子どもたちの「生きる力」を育み、ふるさと久留米を誇りに、元気と笑顔があふれる「くるめっ子」を育てていこうと謳っています。



教育施策・教育改革

編集後記

本号が令和3年最後の市議会だよりになります。少し気が早いかもしれませんが、今年の議会を振り返ると、やはり新型コロナウイルス対応と水害対策に追われた1年という印象です。

市民の皆様の不安を少しでも払拭できるように、来年も市議会と行政が一体となって、全力で取り組んでまいります。

議会広報委員会

今号の表紙



有馬火消し梯子隊

(左)隊員(久留米支団)

飯田 記子さん

(中央)隊長(第16分団)

佐古 章さん

(右)隊員(第25分団)

国武 ひかりさん

今年、久留米藩21万石の藩主、有馬豊氏が久留米城に入って400年。当時の火消しの伝統を、久留米市消防団の有馬火消し梯子隊が今に受け継いでいます。

(撮影時のみマスクを外しています)

次回定例会の案内

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時間は、午前10時の予定です。

インターネット中継もどうぞ

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

12月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
11/29 本会議 (提案説明)	30	12/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13 常任委員会 (教育民生・建設)	14 常任委員会 (経済・総務)	15	16	17 本会議 (採決等)	18	19
20	21	22	23	24	25	26

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを讀んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3
TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。

ご意見等はこちらからも投稿できます▶

